

学修奨励制度について

1 学修奨励制度の目的と趣旨

入学試験の成績又は学業成績、人物が優れている学生に対して、授業料等の減免による経済的支援を行うことを目的としています。また、決定については、本学の学修奨励制度規程に従い、総合的に判断します。なお、他の授業料減免制度との併用はできません。

2 対象となる入試区分・試験名称

専願入試（指定校推薦入試、特別指定校推薦入試、専門能力推薦入試A・B）

専願入試においては、学習成績の状況（旧：評定平均値）により以下の各種授業料減免制度の適用対象となります。

専願入試特待生制度A ---- 学習成績の状況4.8 ～ 5.0の場合、授業料半額（370,000円）を4年間免除※

専願入試特待生制度B ---- 学習成績の状況4.5 ～ 4.7の場合、授業料1/4（185,000円）を4年間免除※

※ただし2年次以降は特待生資格について継続審査を行います。前年度の学業成績が所属学科全体の上位1/4以内に満たない場合、特待生資格の継続は認められません。

併願入試（一般公募制推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試）

併願入試においては、以下の基準により、授業料減免制度の適用対象となります。

特待生特別奨学制度 ----- 入学試験で優秀な成績を収めた場合、1年次前期授業料（370,000円）を免除

資格取得特待生制度A ---- 本学が指定する資格を取得の場合、授業料半額（370,000円）を4年間免除※

※ただし2年次以降は特待生資格について継続審査を行います。前年度の学業成績が所属学科全体の上位1/4以内に満たない場合、特待生資格の継続は認められません。

資格取得特待生制度B ---- 本学が指定する資格を取得の場合、1年次前期授業料（370,000円）を免除

対象資格一覧

制度A	制度B
・実用英語技能検定準1級以上 ・TOEIC (L&R) 700点以上 ・GTEC (4技能) 1190点以上	・実用英語技能検定2級 ・TOEIC (L&R) 550点以上 ・GTEC (4技能) 960点以上
・日商簿記検定1級 ・応用情報技術者 ・日本語検定1級認定	・日商簿記検定2級 ・基本情報技術者 ・日本語検定2級認定

出願時に資格の証明書（コピー不可）を提出してください。 ※GTECのスコアは、OFFICIAL SCORE CERTIFICATEで、かつ、受験日から2年間までを対象とする。

※TOEICは、公式認定書によるものとする。 ※出願時には必ず学生募集要項（本学ホームページにPDFファイルで掲載）を確認してください。

合格者の学修奨励制度（特待生特別奨学制度）対象試験へのチャレンジについて

総合型選抜（第2回を除く）、学校推薦型選抜（専門能力推薦入試後期日程及び特別指定校推薦入試を除く）で合格され、入学手続を完了された方（他の授業料減免制度適用候補者は除く）は、学修奨励制度対象試験を特待生（1年次前期授業料370,000円を免除）の適用目的で受験することが可能です。（検定料は不要。調査書等の提出も必要ありません。）

ただし、大学入学共通テスト利用入試に学修奨励制度対象試験として出願される方は、令和4年度大学入学共通テストを受験される方のみ出願可能となります。もちろん、特待生基準に達しなかった場合でも入学の権利が取り消されることはありません。

上記の学修奨励制度対象試験の成績により、以下の授業料減免制度の適用対象となります。

[特待生特別奨学制度] 1年次前期授業料（370,000円）を免除します。

（選考基準）同制度対象試験で優秀な成績を取った方

学部学科ごとの定員枠は設定せず、各試験の得点水準で決定します。

（対象試験）一般選抜：一般入試（前期日程・中期日程）、大学入学共通テスト利用入試（前期日程・中期日程・後期日程）

（備考）①学則（休学・退学等）により適用資格を喪失・取り消すことがあります。

②詳しくは、合格通知書に同封されます「学修奨励制度対象試験のご案内」をご覧ください。

授業料減免の取り扱いについて

岡山商科大学では、「日本学生支援機構（JASSO）修学支援新制度」（以下「修学支援新制度」という。）の適用を受ける学生が、「岡山商科大学 学修奨励制度」の適用を受けることになった場合、授業料から修学支援新制度の減免額を引いた額に対して、「岡山商科大学 学修奨励制度」を適用して減免を行います。